



龍谷大学教職員の皆さん向けに、ボランティア・NPO活動センターの活動をご紹介します情報紙です。教職員の皆さんにボランティア・NPO活動センターの活動を知っていただきたい！ ボランティア活動に参加していただきたい！ そんな思いを込めて作成しています。

ボランティア・NPO 活動センター20周年記念事業 テーマ 『ボランティアで未来を拓く』

龍谷大学ボランティア・NPO 活動センターは、2001年の発足以来、多くの方に支えられて設立20年を迎えることができました。この間、当センターの活動に対しまして、多くの皆さまにご指導とご支援を賜りましたこと、心から感謝を申し上げます。過去を振り返りつつ、これからのボランティア活動や大学ボランティアセンターについて考え、交流しながら未来に向けた新たな一歩を踏み出す機会として、設立20周年の記念事業を開催いたします。ぜひご参加ください。

■日時:2021年2月11日(木・祝日)10:00~15:00 ※オンライン(Zoom)にて開催

■内容

○プログラムⅠ「なぜ、龍大ボラセンは20年続いたのか？」 筒井 のり子(ボランティア・NPO 活動センター長)
センターの20年間の取り組み、龍大ボラセンの特徴についてお伝えします。

○プログラムⅡ「龍大ボラセンは何を生み出したのか？」

学生スタッフ経験者(卒業生/在学生)へ昨年度実施したアンケート「学生時代のボランティア経験がその後の人生にどのような影響を与えたか」について、工藤保則教授(社会学部)の監修のもとで分析した結果を発表します。

○交流プログラム

主に本学の学生スタッフOB、OG、他大学の学生スタッフ等を対象に、現役学生スタッフが準備している企画です。

○プログラムⅢ「つなごう未来へのバトン おくろう未来へのプレゼント」

現役学生スタッフが、20年という時の重みを感じながら、参加者のみなさまに何か心に残るものを伝えたいと鋭意準備中です。お楽しみに！

○プログラムⅣ 対談 安田 菜津紀 氏(フォトジャーナリスト)×入澤 崇 学長

■定員:200名 無料 ■申込み:公式HPからお申し込みください。

■締め切り:2021年2月9日(火)



参加申込



学長対談 安田 菜津紀 氏 プロフィール

1987年神奈川県生まれ。NPO法人 Dialogue for People(ダイアログフォーピープル/D4P)所属フォトジャーナリスト。同団体の副代表。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『写真で伝える仕事-世界の子どもたちと向き合って-』(日本写真企画)、他。上智大学卒。現在、TBS テレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。

東日本大震災復興支援フォーラム 発災から10年 —あらためて震災を振り返り、その経験を「知恵」とする—

この10年を振り返ると、たくさんの災害が日本を含む世界中を襲い、私たちは深い悲しみと喪失を抱えることになりました。そのたびに、人々は支え合い、助け合ってきました。龍谷大学でも、少しでも力になりたいと、学内外で様々な東日本大震災復興支援活動を続けてきました。

助け合うことと共に必要なのが、“未来の悲しみ”を減らすための取り組みです。災害を防ぐことは出来ません。しかし、災害に対する備えを行い、減災のために行動することは可能です。

あらためて震災に向き合い、震災からの学び、未来を考える時間を共に過ごしませんか。

■日時: 2021年2月6日(土) 13:00~15:45 ※オンライン(Zoom)にて開催

■内容

第1部:「東日本大震災をふりかえる」

- ・これまでの龍谷大学の取り組み報告
- ・活動参加者からの報告

第2部:基調講演「3.11を学びに変える」

佐藤 敏郎 氏(小さな命の意味を考える会 代表)

第3部:「これからの災害とどう向き合うのか」

長谷部 治 氏(神戸市兵庫区社会福祉協議会 地域支援課 課長)

筒井 のり子(龍谷大学社会学部教授 ボランティア・NPO 活動センター長)

■定員: 200名 無料

■申込み: 公式 HP からお申し込みください。

■締め切り: 2021年2月4日(木)



参加申込

東日本大震災復興支援フォーラム
発災から10年
あらためて震災を振り返り、その経験を「知恵」とする

日時: 2021年2月6日(土) 13:00~15:45 ※オンライン(Zoom)にて開催

第1部	第2部	第3部
「東日本大震災をふりかえる」 (これまでの龍谷大学の取り組み報告 ・活動参加者からの報告)	基調講演 佐藤 敏郎 氏 「3.11を学びに変える」	「これからの災害とどう向き合うのか」 長谷部 治 氏(神戸市兵庫区社会福祉協議会 地域支援課 課長) 筒井 のり子(龍谷大学社会学部教授 ボランティア・NPO 活動センター長)

定員: 200名 無料
申込み: 公式HPからお申し込みください。
HP: www.ryukoku.ac.jp/tpof
締め切り: 2月4日(木)

その他、不明点は、下記までお問い合わせください。(チームメール)
申込・お問い合わせ: 龍谷大学ボランティア・NPO活動センター
TEL: 077-544-2222 FAX: 077-544-2221
MAIL: ryukoku@ryukoku.ac.jp

※本プログラムにプログラム事務局を随時IPしていただきますので、ぜひ、チェックしてください。

伊藤 敏郎 氏(プロフィール)
国際関係学として神戸市内の中学校に勤務、2015年3月退職。震災で当時大川小学校6年の次女を亡くす。2013年末「小さな命の意味を考える会」を立ち上げ、現在は全国の学校、地方自治体、企業、団体等で講演活動を行う。NPOカタリバアドバイザーの他、ラジオのパーソナリティーとしても活動中。共著として「16歳の語り部」(ポプラ社)。



基調講演 佐藤 敏郎 氏 プロフィール

国語科教諭として宮城県内の中学校に勤務、2015年3月退職。震災で当時大川小学校6年の次女を亡くす。2013年末「小さな命の意味を考える会」を立ち上げ、現在は全国の学校、地方自治体、企業、団体等で講演活動を行う。NPOカタリバアドバイザーの他、ラジオのパーソナリティーとしても活動中。共著として「16歳の語り部」(ポプラ社)。

フォーラムと、周年事業に向けて、学生スタッフ活動中！

学生スタッフのミーティングや話し合いは、Zoomを使って活発に行われています。授業の空き時間にセンターに来る学生、帰宅した後それぞれの自宅から参加する学生、中には電車の中から話し合いに参加する学生も。学生の活動風景もコロナ禍で大きく変わりました。



パソコンの使い方に不慣れな新生には先輩がやさしく教える場面も見受けられます。前期は通学することすらかなわなかったことを思うと、センターに集い、少しでも対面で活動できることに、感謝する気持ちがわきあがります。



2020年度の事業報告 (2020年4月～2020年12月)

ボランティア・NPO 活動センターでは、龍谷大学の学生・教職員の皆さんに向けて、ボランティアの一步を踏み出すための様々なプログラムや、学生スタッフによるボランティア企画などを提供しています。2020年12月までに、下のような事業を行いました。詳しくはホームページ (<https://www.ryukoku.ac.jp/npo/>) をご覧ください。

ボラセンつーと大作戦～ボラセンスタッフ's stay home life～

前期は全てオンライン授業となり学生が大学へ入構することができない中、センターとしてできることを考え、ボランティアについてのエトセトラをこの機会に発信することになりました。学生スタッフやセンターの職員が、センターの紹介、学生スタッフの活動、ボランティアに関することなどを Twitter で発信しています。

ある日のツイートその1

【ボランティアのイチ押しポイント】

学生スタッフになって、ボランティアを通じて様々な年代の方達と交流できたということが私のイチ押しポイントです！ものの見方や考え方が自分と違う人達と交流するのは、とても新鮮で貴重な経験でした。そんな経験ができるボランティアに是非一步踏み出してみてください！



ある日のツイートその2

【新スタッフ絶賛活動中！@深草】

先輩たちの新歓の頑張りもあって、13名が新スタッフになりました！センターではボランティアを探しに来た龍大生のために、授業の空きコマにシフトを組んで在室しています。

新入生新歓活動

龍大生にボランティアを広めるための活動をしている学生スタッフを毎年新歓期間中に募集しています。この春は、新型コロナの影響で、学生の入構が禁じられたため、対面で新歓活動を実施することができませんでした。そんな中でも、さまざまな工夫を凝らして新入生にセンターや学生スタッフのことを知ってもらおうと、学生スタッフは奮闘！上記のように Twitter で呼びかけ、動画を作成してセンターや、学生スタッフ

の活動を配信しました。深草では、「何でも話せる！雑談会！」を開催、瀬田では新入生を対象としたオンラインガイダンスを実施しました。こういった活動が実を結び、12月現在、深草13名、瀬田12名の新しい仲間が加わって、今年もにぎやかに活動が継続できています。

龍谷大学ボランティア・NPO活動センター 深草学生スタッフによる

何でも話せる！オンライン雑談会！

ボランティアやセンター学生スタッフの活動に関すること、大学生活、バイトや授業のこと、何でも一緒に話してみませんか？

- ★対象学生 深草キャンパスの1・2年生
- ★日程 ① 9月8日(火)13時～14時
② 9月9日(水)13時～14時
- ★開催方法 ZOOM
- ★申込方法 Googleフォーム <https://forms.gle/bLUYBDxsR43yBPk6>
専用QRコードはこちら
- またはメール ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp
※学業最優先の原則です。本会はオンライン雑談会です。本会に名前・学号番号・希望日程(3つまで)を記載して送信ください！
- ★申込期限 各日も前日の午後12時まで

途中退室も可能です！お気軽にご参加ください！

ボランティア・NPO活動センター(瀬田) (通称 ボラセン)

学生スタッフ大募集！

ボラセンとは？
ボランティアをしたい龍大生の皆さんと、ボランティアを募集している団体をつなげる役割をしています。

学生スタッフとは？
ボラセンで活動している龍大生です。ボランティアを探している学生にボランティアを紹介したり、相談に乗ります。また、龍大生がボランティアに参加し、興味を持つきっかけとなるような企画を立ち上げて進めていく活動をしています。

学生スタッフの人数→58人！！一緒に活動しませんか？

ガイダンス日時: 12:45～13:20
10月5日(月)/10月7日(水)/10月8日(木)
10月12日(月)/10月14日(水)/10月15日(木)
場所: ボランティア・NPO活動センター(瀬田) ガイダンス申込Googleフォーム

最新チェック！
ボラセンの最新の活動が見れる！！

ボラセンの場所

Twitter @ryuvnc
メール: ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp
電話番号: 077-544-7252

サークル活動・ボランティア活動情報交換会

センターでは、サークルの特技や強み、普段の活動を生かしてできるボランティアを紹介しています。コロナ禍で多くのボランティア活動が中止になっていますが、サークル同士の交流の場として、「サークル活動・ボランティア活動情報交換会」を実施しています。今年度は Zoom によるオンライン開催で3回実施しました。(9月、11月実施済み、次回は、1月13日)

ぜひいろいろなサークルと交流して、活動の幅を広げていただきたいと思います。活動に役立つ助成金の紹介も行っています。



ボランティアリーダー養成講座 (9月)



9月14日にZoomを使ったオンラインで行いました。ファシリテーターとして産官学で様々な取組みをなさっている九州大学大学院統合新領域学府客員准教授の加留部貴行氏を講師に迎え、ワークショップ形式で行い、32名が参加しました。前期は新型コロナの影響により大学に入構できず、学生間の交流ができなかったこともあり、オンラインで話し合える場が持ててよかったという感想が多くありました。

ボランティア入門講座（7月～11月）

講義とボランティア体験を組み合わせた『ボランティア入門講座』を今年も実施しました。講義を7月～8月にかけてオンラインで行い、10月24日～11月7日にかけてボランティア体験を企画しました。今年は3密を避けるために少人数で行い、かつ屋外の活動を多く取り入れるなど、感染防止対策を講じながら実施しました。また、オンラインでの活動や医療用ガウン作りなども取り入れられました。講義に参加した学生のうち、48名が7つの活動先に分かれて参加しました。



プレ企画:7月14日から4回実施 48名参加
 ボランティア入門講座Ⅰ:8月5日、6日 75名参加
 ボランティア入門講座Ⅱ:8月24日 44名参加
 ボランティア体験:10月24日～11月7日 48名参加



公園環境整備



深草児童館



医療用ガウン作り

ボランティアコーディネーションカ3級検定

ボランティア活動や市民活動に関わっている学生、教職員を対象として、「日本ボランティアコーディネーター協会」との共催で「ボランティアコーディネーションカ3級検定」を毎年実施しています。今年はコロナ禍で実施が危ぶまれましたが、感染防止対策を講じて12月19日に実施し、28名の参加がありました。



体験学習プログラム（2～3月実施予定）

滋賀県近江八幡市（まち歩き日帰り）、福島（学内でのワークショップ Zoom 利用）、オンライン海外スタディツアー（Zoom 利用）を3月に実施予定です。現地に滞在することができない中、工夫を凝らして、学生の体験学習の機会を提供したいと考えています。詳しくは、ホームページ、ポータルをご覧ください。

センターの情報はここから！



Facebook



Twitter



ホームページ

【ボランティア・NPO 活動センター開室時間】

【深草】平日 8:45～16:45(火曜は 10:30～16:45) 【瀬田】平日 9:00～17:00(火曜は 10:45～17:00)



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

ボランティア・NPO活動センター通信 No.39

発行責任者: 龍谷大学ボランティア・NPO活動センター センター長 筒井のり子
 ホームページ: <https://www.ryukoku.ac.jp/npo/>、E-mail: ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp
 SNS: Facebook: 龍谷大学ボランティア・npo 活動センター、Twitter: @ryuvnc

深草キャンパス: 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67 成就館 1F
 内線 1490、Tel:075-645-2047、Fax:075-645-2064

瀬田キャンパス: 〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷 1-5 青志館(生協食堂)横
 内線 7252、Tel:077-544-7252、Fax:077-544-7261